

安田不動産(株) 資産営業部 課長代理 西沢 俊一氏(31)



「上げ潮」安田不のイケメン強打者

「何事も積み重ねが大切」

旧安田財閥系のデベロッパーとしては東京建物がよく知られているが、安田不動産もまた会社設立の経緯こそ異なるが、安田善次郎がルーツという点では同じ名門だ。今年の4月には同社の記念碑的な再開発複合施設「ワテラス」と「御茶ノ水ソラシティ」を同時オープンさせ、着々と堅固な経営基盤を築き上げている。同社資産営業部・西沢俊一氏(31)は礼儀正しくパワーがあり、しかもイケメン。『上げ潮』の同社にびったりの社員だ。身長183センチのイケメンでRBA屈指の強打者。ピアノの腕前はピアノの先生の母親仕込みだ。

散々なデビュー戦翌年は4強入り



野球の話から先に書く。4年前だ。同社野球チームがRBA野球大会に10年ぶりに復帰すると聞き、取材に出かけた。当時の同社人事部副長・田保(たんぼ)茂治氏(39)はじめ4人の方と話した。そのうちの一人が西沢氏だった。

記者は瞬時に「只者ではない雰囲気を感じ取った。背が高いだけでなく、目がキラキラと輝いており、礼儀正しくいつも笑みをたたえていた。あだ名もそのとき考えた「RBA一のイケメン」だ。

西沢氏は入社3年目で、同社資産営業部資産営業第二課に所属していた。27歳だった。西沢氏は、森田健作・千葉真知事

が総監督を務めていたクラブ野球チーム「千葉熱血MAKING」にも所属し、4番打者として活躍していることを聞いた。

身長183センチ、体重85キロ。チームはクラブチームとしては強豪として知られており、昨年の都市対抗野球南関東2次予選ではかずさマジック(現・新日鉄住金かずさマジック)に2対3で惜敗したものの、企業チーム相手にも好ゲームを展開している。また、チーム応援団長にはテレビ演出家のテリー・伊藤氏、総監督付特別補佐官に俳優の京本政樹氏が就任するなど話題も提供していた。

「元気印」
人と企業

投げて防御率は0.82と、チーム4強入りの立役者となった。そして3年目も打率5割8分3厘をマーク、放った安打7本のうち5本が長打(本塁打1本、3塁打1本、2塁打3本)となった。RBA屈指の強打者だ。

◇ ◆ ◇
安田不動産に入社したのは2007年。当時は景気がよかった時で、いろいろ受けましたが、不動産業は知識や技術が蓄積しやすいと考え、決断しました。宅建は内定をもらったときに取得しました。点数? 40点ぐらい取りました。

最初の配属先は売買仲介。仕事はしつかりこなした。1年目から取引が cameしました。

現在はビル管理業務だ。「テナントさんとの人間関係を築くことをいつも心がけています。ハード、ソフト両面でお客さんの不満を吸い上げ、問題を解決することが肝心です。何事も積み重ねが大切。今後は経験を生かしてビルのリーシング、再開発プロジェクトで地主さんとの交渉などもやりたいですね」という。

天地人の三才と目標

「父は野球を、母は音楽の道に進んでほしかったようですが…」

久米 信廣の

私たちが人間が生きるといふこと、それは私たちが、すなわち生命が活動するといふことです。生命維持のために息をし、食事をし、喜怒哀楽し、夜になって床につくという活動の繰り返しが生きていくということ。その私たちが人間の活動の場所、私たちの故郷、それは地球なのです。

この地球は「天地人の三才」で表わされます。「才」

地球環境を考慮した判断基準

えない天の理です。そして地球上において見える天の道となつてあらわれ、宇宙を創っています。地の才は私達に見えない地の理です。そして地球上において見える動植物の発育から地球という環境に、経済的発展という名のもとに、置かれている環境から導

命をのせることが生きる目的を設定する時の判断基準にするのです。それは、地球環境を考慮した判断基準をもつことなのです。いや、もっと積極的にいえば地球環境を乱さないという判断基準、地

人を敬し 場を綺麗に 約束を守る

球というリズムにのった判断基準に則るといった方がいいでしょう。

そこで、私たち第三企画は目的を掲げるとき、他者と協力することを前提にする、地球を含めて生命というものを信頼する、違いを認め合い尊重し合う、以上を業務の根底に置いていきます。これはまさに第二企画の哲学、経営哲学なのです。その哲学を日常の行動に落とし込むと、具体的には、人を敬し気遣い、場所を綺麗にし、約束を守るという3つの行動原則に集約されます。この哲学と原則の上に目標、目的が展開されているのです。

ところが、総勢80人のうち欠席者は3人しかいなかった。「ありがたかったですね。長野に住む友人は『電車が動くか心配だから』と言って前日に駆けつけてくれました。会社の関係者もみんな出席してくれました。

結婚式の当日、ピアノの先生の奥さんと一緒に万感の思いを込めて弾いた曲は「A Whole New World」だった。

野球の経験 仕事に生きる



西沢氏は昭和57年、長男として生まれた。出身は横浜。父はメーカーのサラリーマン、母はピアノの先生。下に双子の弟がいる。

「生まれた時は4500グラムあったそうですから、大きかったのですね。小学4、5年あたりから身長が伸びはじめ、中学生のころは父と同じぐらい180センチありました。父は野球好きで僕に野球をやらせたかったのですね。母は音楽をやらせようと思ったよ



うです。それで、6年間ぐらいピアノ、バイオリンなどをやらされました。バイエルの上・中・下など、早い段階で全て叩きこまれました」と当時を振り返る。

5歳のとき、埼玉県宮

代町に引越す。「バブルのころです。私が5歳の時、父が焦って家を買いました。地元の少年野球チームに属していました。が、県で優勝するようなスパルタチーム。厳しかったですね」

大学は学習院「早大出の父は6大学に行かせたかったようで、僕もある6大学に受かったんです。が、校風に惹かれて学習



なかつまういきませんでした。でも、少年野球の国際大会のお手伝いなどもあり、思い返すと楽しい学生生活でしたね。僕を大きくしてくれました」

東日本大震災の翌日に結婚式

西沢氏は「3・11の翌日、新宿区のホテルで結婚式を挙げるこ

とが決まっていた。『女房の大切さを東日本大震災で実感することになる。3・11の翌日、新宿区のホテルで結婚式を挙げるこ

眼下にニコライ堂 「ワテラス」「御茶ノ水ソラシティ」竣工



ワテラス

ルーツは安田善次郎

安田不動産は一代で三井、三菱、住友と並ぶ安田財閥を築き上げた明治、大正期に活躍した安田善次郎がルーツ。東大安田講堂や日比谷公会堂は善次郎が寄贈したものだ。

前者の施行面積は約2ha、約1haの北街区と約663㎡の南街区に分かれており、北街区は地上41階建ての本体棟と15階建てのアネックス棟から構成。アネックス棟は事務所、店舗、学生貸資マンションとなる。双方で延床面積は約13ha。

1950年、旧安田グループの中核、安田保善社の残余不動産を現物出資し、その第二会社「永楽不動産」として設立。1970年、現社名に変更。都心部のビル事業のほか分譲、仲介事業などを展開している。

◇ ◆ ◇

安田不動産などが開発を進めてきた東京のど真ん中の御茶ノ水に新しいランドマークが完成した。同社が淡路町二丁目西部地区市街地再開発組合や一般社団法人淡路エリアマネジメントなどと開発を進めてきた千代田区神田淡路町二丁目の再開発プロジェクト「WATERBAS Wataras」と、同社と大成建設、ヒューリック、大成有楽不動産の4社からなるSPCが開発を進めてきた御茶ノ水駅前旧日立本社の再開発ビル「御茶ノ水ソラシティ」で、ともに4月12日、グランドオープンした。

安田不動産などが開発を進めてきた東京のど真ん中の御茶ノ水に新しいランドマークが完成した。同社が淡路町二丁目西部地区市街地再開発組合や一般社団法人淡路エリアマネジメントなどと開発を進めてきた千代田区神田淡路町二丁目の再開発プロジェクト「WATERBAS Wataras」と、同社と大成建設、ヒューリック、大成有楽不動産の4社からなるSPCが開発を進めてきた御茶ノ水駅前旧日立本社の再開発ビル「御茶ノ水ソラシティ」で、ともに4月12日、グランドオープンした。

安田不動産などが開発を進めてきた東京のど真ん中の御茶ノ水に新しいランドマークが完成した。同社が淡路町二丁目西部地区市街地再開発組合や一般社団法人淡路エリアマネジメントなどと開発を進めてきた千代田区神田淡路町二丁目の再開発プロジェクト「WATERBAS Wataras」と、同社と大成建設、ヒューリック、大成有楽不動産の4社からなるSPCが開発を進めてきた御茶ノ水駅前旧日立本社の再開発ビル「御茶ノ水ソラシティ」で、ともに4月12日、グランドオープンした。

安田不動産などが開発を進めてきた東京のど真ん中の御茶ノ水に新しいランドマークが完成した。同社が淡路町二丁目西部地区市街地再開発組合や一般社団法人淡路エリアマネジメントなどと開発を進めてきた千代田区神田淡路町二丁目の再開発プロジェクト「WATERBAS Wataras」と、同社と大成建設、ヒューリック、大成有楽不動産の4社からなるSPCが開発を進めてきた御茶ノ水駅前旧日立本社の再開発ビル「御茶ノ水ソラシティ」で、ともに4月12日、グランドオープンした。



日本不動産野球連盟（RBA） 幹事会社／三井不動産、三菱地所、東急不動産、ケン・コーポレーション 齋藤 哲二郎氏 顧問に就任 三菱地所リアルエステートサービス（株） 常務執行役員

プロフィール

1980年 4月 三菱地所住宅販売（株）入社
（現 三菱地所リアルエステートサービス（株））
2002年 4月 リース事業部長
2007年 4月 執行役員 賃貸事業副本部長
2009年 4月 常務執行役員 賃貸事業本部長
2013年 4月 常務執行役員（現在に至る）

RBA の顧問に就任するにあたって

この度、前弊社副社長勝間田清之さんより RBA の顧問を引き継ぎました、三菱地所リアルエステートサービス株式会社の齋藤です。

歴史ある連盟の顧問に就任することとなり、光栄でありますとともに責任の重さを痛感しております。微力ではございますが、皆様のお役に立ちたいと考えております。どうぞ宜しくお願い致します。

RBA は平成元年に発足し、今年が第25回大会になります。これだけ長く続けることについては、第三企画の久米社長をはじめスタッフや関係者のご尽力に心より敬意を表し、会員各社の皆様のご支援、ご協力に感謝申し上げます。

野球はチームワークが大切です。チームワークはコミュニケーションが不足しているとうまくいきません。弊社でも、社内各部署に野球部員がおります。各々、通常業務では一緒にはおりませんが、RBA の大会が近づくとミーティングと称して飲みに出かけたり、先輩後輩が一緒になって盛り上

がってコミュニケーションを取り、気持ちを一つにし大会に臨んでおります。

最近、世間ではコミュニケーションが不足しているなどと言われておりますが、RBA 大会はそのコミュニケーションやチームワークの大切さを再認識させて頂ける場でもあります。また、業界他社の皆様とも親睦を深めあう機会でもあるため、大きなくりでのチームワークを構築することも必要ではないかと考えております。

RBA 活動が業界発展の旗振り役となり、さらなる飛躍を心から願い、また各会員の皆様にも引き続き本会へのご支援、ご協力を賜ります様お願い申し上げ、簡単ではございますが、就任のご挨拶とさせていただきます。

平成 25 年 5 月

三菱地所リアルエステートサービス（株）
常務執行役員 齋藤 哲二郎

RBA野球は不滅

第25回大会を迎えるにあたって



記者はRBA野球大会 25年の歴史の中で、第3 回は平成3年か

が崩れ、天国から地獄へ、絶頂から奈落の底へ突き落とされたときだった。当時は連日のように「〇が破綻」のニュースが飛び込んできた。個人的にも女房のガンの発病で落ち込んでいた。それこそ先真っ暗の毎日だった。嘘を書く習性は記者にはなかったから、ノー天気な楽観的な記事など書けなかった。不動産業水河時代に突入」などの過激な見出しの記事を書いた。一度見てみよう」と出かけたのが始まりだ。最初の出会いが幸運



だった。当時、東急リパブルの黄金期を築いた人だ。こよなく選手を社員故、茂木達男氏から詳しく経緯を聞いた。茂木氏は、野球部出身の大学生をたくさん採用してリパ



「仕事で成果を上げられない選手は試合に出さない」という厳しい内規を定めているチームもある。

栄枯盛衰。RBAもまた業界のその時々を市場を映す鏡だ。チームの浮沈を眺めていると、その時々の業界地図が浮かび上がってくる。これもまた楽しい取材の一つだ。業界の最前線にいますという自覚が得られる点でRBAの取材は面白い。

住宅・不動産業界ばかりでなく、あらゆる業界で企業スポーツが衰退し、トップレベルの競技者の活動基盤は極めて深刻な状況に追い込まれている。かつてのような福利厚生としてのスポーツがその役割を終え、多様化も進んでいる。夏は記者の夏でもある。パワーがあり、礼儀正しいサラリーマンの見えるような選手に会えるのが無上の喜びだし、最上のカタルシスだ。その夏がやってきた。

感動をありがとう 両国の素晴らしい未来を祈念

駐日本大使館公使参事官 周海成氏



お集まりの皆様、こんでとうございます。中国ばんは！ まず、今回優勝のケン・コーポレーター、心より祝意を申し上げます。この美しい東京の夜の積水ハウス京葉のチームの皆さん、本当におめハイ・レベルな野球試合

ン・コーポレーションチームは25年で2回目の栄冠とお聞きしました。長年の夢が実現され、まさに「夢のチーム」となりました。夢が叶ったこの夜、選手の皆さんがこんなに喜んで盛り上がり、感動しました。皆さんを尊

ケンさんとは仕事でもお付き合い 大会の継続を

タイ王国大使館公使 シントン・ラーピセートパン氏



本日は、「第24回RBAの優勝おめでとうござい野球大会表彰式にお招き頂きありがとうございます。ケン・コーポレーションの皆様、日曜ブロック

があることは、とても素晴らしいことです。このような大会が毎年開催されるのは、企画運営をなさっている第三企画の久米社長始めスタッフの皆様のご尽力の賜物だと存じます。本大会が今後も盛況の上に続くことを願っております。



敬し、誇りに思います。お集まりの皆様、野球チームにはそれぞれに夢があるように、世界各国の人民には自分の夢があります。ここで、中日両国の人民はもっと楽しく幸せに暮らせ、夢が実現できますように、そして両国の未来がもっと明るく素晴らしい関係になれるように、心から祈っております。

そんな一途な選手やスタッフの姿をみて記者は、初出場初優勝の快挙を

平成15年の第15回大会で初出場初優勝の快挙を

に、強豪チームといわれる企業の選手は、間違いない仕事でもトップクラスの成績を上げている。典型的な例が旭化成ホームズだ。今の平居正仁社長こそ人事部長時代に野球出身者を採用し、最強のチームに育て上げた人だ。同社の選手は本業でも全国トップレベルだ。



組織があつてこそ発展もするし、そこから突出した人材も生まれる。その意味で、RBA野球大会は住宅・不動産業界にささやかながら貢献しているのではない。企業モラルの向上、社員の自己実現にRBA野球大会は大きな力を発揮しているのは間違いない。「野球を通して業界の繁栄と発展に寄与しよう」という大会理念も貴重だ。住宅・不動産業界だけでなく、建設会社、管理会社まで横断的な大会を継続しているところなど、他にないのではない。野球選手が将来、各企業の幹部クラスに出世してくれることをずっと夢見てきたが、その夢は正夢になりつつある。幹部生としてのスポーツがその役割を終え、多様化も進んでいる。夏は記者の夏でもある。パワーがあり、礼儀正しいサラリーマンの見えるような選手に会えるのが無上の喜びだし、最上のカタルシスだ。その夏がやってきた。



あるが、主因は経済環境の悪化だ。競技者を抱える体力が企業になくなつたからだ。何事もそうだが、しっかりとピラミッド型の(RBAタイムズ記者牧田司

歩くことが目的なのか？
行きたい所に立つことが目的なのか？
今一度、と言わず何度でも…

魚名

第24回RBA野球大会 総合優勝戦

小笠原快投 毎回10奪三振



田邊監督を胸上げするナイン

ケン・コーポレーション 0100020 | 3
 積水ハウス京葉 0000000 | 0
 (7回2時間 時間切れ)

10年ぶり2度目の 念願の総合V



田邊監督

ベテラン金子が決勝打



左から金子、小笠原、矢澤

エース小笠原は球威もさることながら変化球が冴え、7回を毎回10奪三振の快投。2回、敵失から好機をつくりベテランの伏兵金子が適時打を放ち、6回には尾関が2点2塁打を放った。5安打で3点の効率のいい攻めが光った。

積水 失策がらみの失点響く

ケン・コーポレーションが10年ぶり2度目の総合優勝―第24回RBA野球大会総合優勝戦、ケン・コーポレーション―積水ハウス京葉の試合が5月16日、東京ドームで行なわれ、日曜ブロックの覇者ケンコーポが水曜ブロックの優勝チーム、積水ハウス京葉を3―0で下し、10年ぶり2度目の優勝を飾った。

下が9三振と完璧に抑えられ、試合後、優勝したケンコーポには久米大会委員長から優勝旗が、中国大使館公使・シントン・ラーピセート大使館公使参事官・周海成それぞれ手渡された。



周氏から記念のメダルを受け取るケンナイン



シントン氏から日曜ブロック優勝杯を受け取る田邊監督



ケンの応援席

○田邊監督 やつと念願ろを見せつけた
 がかった。タイムリー2本。小笠原もよく投げたが、みんなが勝つ気で臨んだ。みんなの勝利試合後、目を潤ませていた
 ●堂原監督 いやあ悔しい。完全に負け。負けた
 ●生田 また帰ってくる。球威が突然落ちた？
 ノーコメント(28歳の年齢のせいにはしなかった)
 ○小笠原 変化球？
 3分の2ぐらい投げた
 (羽中田と同じコメント)
 ●柵橋 初めて三振した。2度目はバットを短くした。相手投手は地だ(大勝負に強いとクレバー)



ケン・コーポレーション



久米大会委員長から優勝旗を受け取る田邊監督